

ありがとう瀬戸大橋駅伝
 地域の絆をつないで
 四半世紀



12月定例会の概要2
 9人が一般質問3
 第5回議会報告会開催状況 .. 10

坂出北インターチェンジは「命の道」、フルインター化の早期実現に向けて！！

条例制定案などを可決



12月定例会の概要

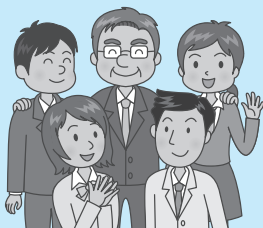
12月定例会では、初日に、市長より条例制定案5件、条例の一部改正案7件、補正予算案8件、専決処分の承認1件が提案されました。また、9月定例会で継続審査となっていた決算認定13件を認定しました。

提案された条例制定案等は、関係委員会の審査等を経て（専決処分の承認は委員会への付託を省略）、最終日に、いずれも原案のとおり可決しました。また、最終日に市長より提案された人事議案2件を原案のとおり可決しました。（審議結果は9ページをご覧ください。）

条例の内容・目的

● 坂出市まちづくり基本構想の策定に関する条例制定について

将来における市のあるべき姿と進むべき方向について、まちづくりの最も基本的な指針となる基本構想を策定することに関し、必要な事項を定めるもの。



● 坂出市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、本市議会議員の期末手当の支給月数を0.15月分引き上げ、年間3.10月とするもの。

● 坂出市仲よし教室条例制定について

これまで国の放課後児童健全育成事業等実施要綱に基づき定めた坂出市仲よし教室実施要綱により運営を行ってきた仲よし教室に関し、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、より適正に事業を実施するために、その管理及び利用について定めるもの。

議員がきく

問 利用料値上げの意図と根拠は。

答 8月の利用料の県内7他市の平均は約8,400円であり、本市の利用料とは不均衡が生じています。

また、国においては当該事業に係る運営費のおおむね1/2を保護者負担で賄うことを想定していますが、平成25年度決算においては保護者負担額が想定半額以下の水準にとどまっていることから、利用料を見直し、受益と負担の適正化を図るものです。

補正予算関係

一般会計補正予算案は1億4,592万2千円を増額し、補正後の予算総額を229億9,890万2千円とするもので、主な内容は以下のとおりです。

総務費

■ 地方税務システム改修委託料 1,200万円
マイナンバー制度に対応するために必要となるシステムの改修

民生費

■ 生活保護扶助費 2,500万円
医療費や生活事務費の決算見込みの増加に伴う増額

土木費

■ 京町住宅地区改修工事 1,250万円
人工土地における市有店舗を改装し、観光ボランティアの活動拠点とするもの



一般質問

9名の議員が市政について聞きました

質問者の質問順に掲載しています。
一般質問の詳細や過去の質問は、会議録で閲覧できます。

吉田 耕一 議員 新政会

子ども・子育て支援新制度のメリットは

問 新制度への移行により公立幼稚園の保育時間、内容に変更はあるのか。また、園児、保護者などのようなメリットがあるのか。

答…教育部長
公立幼稚園に関しては、教育時間、内容に特段の変更はありません。

新制度では、子どもの年齢や親の就労状況などに応じた多様なニーズに対応するための「量的拡充」と、幼稚園職員の配置や処遇改善等を指す「質の改善」に取り組みとされています。本市の公立幼稚園においては、幼稚園職員の研修をより充実させるとともに、子育て相談の場や機会を設けるなど、質の向上を図っていきます。

一般質問

質問の主な項目

- 子ども・子育て支援新制度について
- 人口減少社会における行政のあり方について
- 第3次坂出ふかへしプラン21について

地域における仲間づくり活動のより一層の充実を

問 中央地区など一部の地区では、仲間づくり活動が少ない傾向が見られるが、地域の絆を強くし、国において進められている地域包括ケアアシテムの促進において仲間づくり活動は、大変重要であると考えるが。

答…健康福祉部長
各地区社会福祉協議会における仲間づくり活動は、住民同士のつながりや、お互いの安否確認、健康維持・向上など、多彩な効果が期待できるものとされており、本市としても大変重要な活動のひとつであると考えています。

また、中央地区などにおいて年間24回以上開催している活発な団体もあり、市社会福祉協議会では地区の座談会において、今後、より一層仲間づくり活動に取り組んでいきたいとの考えを聞いています。



出田 泰三 議員 市民の声

音楽が楽しめるまちを目指し野外音楽堂の設置を

問 市民が気軽に音楽を楽しめるまちづくりを進めるため、坂出駅前の市民広場にある現在のステージを、新たにドーム型の屋根を設置した野外音楽堂として整備してはどうか。

答…建設経済部長
坂出駅前の市民広場はさかいで大橋まつり等の各種イベント会場として利用される外、災害時の指定緊急避難場所になっていることから、ステージ前面には飲料水兼用の耐震性防火水槽が埋設されているため、ステージの増設は困難ですが、既存のステージを有効活用していく中で、利用者のニーズ等も踏まえ、ドーム型の屋根の設置に関し、今後検討していきたいと考えています。

質問の主な項目
市民本位・市民参加・市民対話による市政運営について
観光振興と魅力あるまちづくりについて

瀬戸大橋花火大会の実施を

問 瀬戸大橋が開通する直前の大晦日に瀬戸大橋を借景とした花火大会が開催され、冬の夜空に大輪の花を咲かせる花火とその光に映し出された瀬戸大橋の雄大さに感動を覚えたことを鮮明に記憶している。

本市のみならず四国の観光振興の面からも、瀬戸大橋に新たな息吹を吹き込むため瀬戸大橋花火大会を定期的に実施してはどうか。

答…建設経済部長
瀬戸大橋を背景とした花火大会を開催する場所となる番の州沖合は国際航路でありますので、その実施は困難です。また、島しょ部で開催するとすると、島を訪れる多くの人の受け入れ態勢の整備等費用対効果の点で難しいと考えます。

答…市長
瀬戸大橋周辺での花火大会実施は様々な問題がありますが、瀬戸大橋開通30周年など節目をとらえての開催を関係機関と検討していきたいと思



若谷 修治 議員

市民グループ
未来の会

▼子供たちの安全のため、窓ガラスの飛散防止対策を講じては

問 市内全ての保育所および幼小・中学校において、ガラス飛散防止のフィルムシートを貼るなど、積極的な安全対策を講じるべきでは。

答 …健康福祉部長

公立保育所におけるガラス飛散防止対策の実施率は、現在全体の10%ですが、飛散防止対策は、裸足保育を実施していることから必要対策の1つと考えており、児童の安全・安心のため、今後検討していきます。

答 …教育部長

幼稚園においては、園長会から喫緊の課題として要望を受けており、関係部署と連携、協議しながら対応していきます。また、小・中学校においても、非構造部材の耐震化を行う際にガラス飛散防止を含めることとし、児童・生徒の安全確保に努めていきます。

質問の主な項目

- ・子供を守る安全対策について
- ・瀬戸内国際芸術祭2016について
- ・農業者の減少問題について

▼急激な米価の下落が及ぼす本市農業への影響は

問 平成26年度産米の60kgあたりの仮渡金が1万円を大きく下回り、銘柄によっては昨年産より価格が急激に下落しており、下落に歯止めがかからない状況であるが、本市農業においてどのような影響があると認識しているか。

答 …建設経済部長

現在の米穀情勢は、主食用米の過剰作付や大量の古米在庫、消費の大幅な減少から近年にない高い在庫水準となり、過去に例を見ない販売環境の悪さとなっています。

本市の農家への影響としては、今後の米価の下落とともに、平成30年度産の米の直接支払交付金の廃止等から、米の生産農家は、大幅な所得の減少が予想され、米作りを断念する農家、さらには高齢化・後継者不足等の理由での離農する農家が増加するものと考えられます。



木下 清 議員 改進の会

▼新年度における人口減少対策のための取り組みは

問 本市の人口が将来的に4万人を下回ることも予想されているが、新年度に向けてどのような施策に取り組むのか。

答 …市長

国においては、年内に将来の方向を提示する「長期ビジョン」とそれを踏まえた「総合戦略」を策定する予定となっています。

人口減少問題は、個人の生き方や働き方、家族、地域、社会のあり方にも関わる問題であり、官民一体となり、社会全体で議論すべき難しい問題ですが、人口減少対策は、まちづくりそのものであり、市政全般の中で取り組んでいく最重要課題であると認識しています。本市においては、「坂出市まちづくり基本構想」や「ランドデザインの策定を進めている最中であり、中長期的なまちづくり全般の中で積極的な施策を展開していきたいと考えています。

質問の主な項目

- ・市長の選挙公約について
- ・地域の活性化対策について
- ・監査委員制度について

▼新病院での産科の再開、脳神経外科の新設の早期実現を

問 昨今、産科をはじめとした医師の確保はますます厳しさを増しているが、新病院にとって産科の再開と脳神経外科の新設は最重要課題である。今後、全力をあげて取り組む決意のほどは。

答 …市長

産科の再開及び脳神経外科の新設については、市民の強い要望により取り組んできましたが、開院時には常勤医師を確保することができず、再開及び新設はできませんでした。

市立病院が、他の診療科も含め、安定的に継続して診療を行うためには、香川大学医学部にお願いくることが有意であると考えており、今後、現在行っている非常勤医師による婦人科並びに脳神経外科の診療を継続するとともに、引き続き常勤医師の確保に向けて取り組んでいきます。



新市立病院

斉藤 義明 議員 市民の声

▼「ふるさと納税」の積極的活用を

問 地方創生の一環としてふるさと納税の拡充が予定されており、自治体の収入増が期待できるこの制度を有効に活用するため、返礼品の見直しやクレジット決済の導入など積極的に取り組む考えはないか。

答…総務部長
「ふるさと納税応援寄付」はまちづくりのための重要な財源であり、一人でも多くの方からご寄付を頂けるよう準備を進めています。具体的には、お礼の品の充実のため「さかいでまろ」等の活用や5万円以上の寄付金としている贈呈の基準の見直しを検討しています。また、ふるさと納税に関する事業を展開している企業へPRを依頼するなど有効な広報活動を研究する中で、クレジット決済の導入についても検討していきます。



三金時詰合わせセット

▼債権管理の適正化と回収の徹底のためのルール作りを

問 あらゆる手段を尽くしても明らかに徴収不能な債権を不納欠損処理するための債権放棄の基準を設けるなど、債権管理の適正化と回収の徹底を図るため、全庁的な方針を定めるべきではないか。

答…総務部長
徹底した債権の回収により公平性を確保することで市民との信頼関係を築くことは、市民共働のまちづくりを推進するためにも不可欠です。また、厳しい経済状況が続く中、市民生活に必要な公共サービスを継続的に提供していくための自主財源の確保も重要です。

そこで、各関係部署での債権管理の現状や問題点の把握、さらには情報共有を図るため、全庁的な担当者会議を発足しました。今後、債権管理の適正化及び債権回収の徹底を図るための一定の基準や指針などが共有できるよう、継続的な取り組みを進めていきます。

- 質問の主な項目
- ・ 公共施設の在り方について
 - ・ 水道広域化について
 - ・ 市長の選挙公約について

末包 保広 議員 新政会

▼「さかいでまろ」の各種イベントへの積極的な参加を

問 本市PR戦略係長さかいでまろの活動状況や、出演依頼が重なった際の調整方法は。

答…建設経済部長
本年4月1日に誕生した「さかいでまろ」は、市内で開催される各種イベントをはじめ、市内の保育所、幼稚園、小学校などの行事等に要望があれば積極的に参加しています。これまでの実績としては、11月末現在、市内91件、市外7件、県外4件の計102件のイベント等に参加しています。

出演依頼が重複した場合は、行事主催者と出演時間帯を調整し、可能な限り全ての行事に出演できるように調整を行っています。調整ができなかった場合においては、原則として先に依頼のあった行事に出演していきます。



県内水道事業の広域化には参加せず、単独で事業運営を行う考えは

問 本市単独で今後も水道事業を運営可能であれば、市民のためにも水道事業の運営決定権は本市が有しておくべきと考えますが。

答…市長
まず、本市独自のシミュレーションによると、平成55年まで、市単独で水道事業の運営を維持しているのではないかと考えています。先日、県知事が来庁し、平成27年春から水道事業の広域化に参加するよう要請がありました。県のシミュレーションと本市のそれとは、結果に大きな隔たりがあり、検討段階であることから、参加できないと回答しました。また、平成28年春からの参加要請については、現段階ではわからないが、未来永劫参加しないということではない、県と市のシミュレーションを十分検討したいと回答したところです。

引き続き、市民のために安全で高品質の水道水の安定供給を行っていくことを最優先として、この問題に関し判断していきます。

- 質問の主な項目
- ・ 人口増対策について
 - ・ にぎわい創出について
 - ・ 水道事業の広域化について

野角満昭議員

日本共産党議員会

▼憲法や子どもの権利委員会の
勧告の趣旨を踏まえた教育行政を

問 国連の子どもの権利委員会から政府に出された「競争や管理のもと子どもの権利が侵害されている」との趣旨の勧告を踏まえ、本市の教育行政のあり方についての見解は。

答：教育長

現在、各学校では、子どもがわかる、楽しいと実感できる授業の推進など一人ひとりを大切にした子ども主体の学習に意を用いています。また「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめのない学校づくりに取り組んでいます。

教育委員会としても、すべての教員が教育者としての自覚と責任を持ち、子ども一人ひとりの人格を認め、自他の人権を尊重する教育を推進するとともに、子どもがお互いの良さを認め合い、高め合う教育が一層充実するよう指導してまいります。



▼小規模企業振興基本法に基づ
く具体的な振興策の策定を求
める

問 中小企業基本条例の策定や全数調査による市内事業所の実態解明、産業政策会議の立ち上げなど具体的な取り組みが求められているが、本市の考え方は。

答：建設経済部長

本市の小規模事業者の現状としては、人口減少、経営者の高齢化、資材の高騰、消費税の転嫁問題など課題や問題点を抱え、厳しい状況が続いているものと認識しています。

そのような状況下、中小企業基本条例を柱として、実態調査による小規模事業者の課題や問題点を把握する中で、企業経営者、大学などの専門機関、金融機関、行政、地域住民など産学官民が連携する産業政策会議を立ち上げ有効策を講じるなど、関係者との緊密な連携協力を行うことが重要であると考えており、今後、中小企業基本条例の策定を含む具体的な振興策について、商工会議所等の関係機関と協議・検討する中で調査・研究してまいります。

質問の主な項目

- ・来年度予算編成について
- ・教育委員会の活性化について
- ・ごみ減量化のさらなる推進について

村井孝彦議員

市民グループ
未来の会

▼「坂出版」総合戦略を作成しス
ピードのある政策立案を

問 地方創生関連2法が衆議院解散前に成立し、地方にも各地の実情に応じた総合戦略、いわば「坂出版」総合戦略を策定する努力義務が課されることとなった。総合計画やグラウンドデザインとの整合性を図ることになると思われるが、総合戦略策定の計画とそれに向けての市長の考えは。

答：市長

本市においても人口減少問題は喫緊の課題であり、国及び香川県の総合戦略等を勘案しつつ、市政の最上位の方針としての「坂出市まちづくり基本構想」やグラウンドデザインとも密接に関連することから、これらの整合性にも十分配慮しながら、今後策定してまいります。



白峰パークセンターから市内を望む

▼避難支援計画を充実させるため
のさらなる工夫を

問 本年3月に見直された「避難行動要支援者避難支援計画」を進めるにあたっての問題点と解決策は。

答：総務部長

現在、見直し後の計画を広く認知してもらうため、広報誌等による周知、連合自治会等に対する防災訓練などを通しての説明を行うとともに、「避難行動要支援者名簿」の作成を進めています。

問題点としては、支援側の人員確保の困難性、支援されることへの遠慮や行政を含めた関係者間の相互連携が十分に図れていないことなどが挙げられます。これらを踏まえ、避難行動要支援者名簿の関係者への提供や本人に対する意思確認を通し、計画等の周知を継続的に実施して、本施策への理解や認識などを深めるとともに、地域が主体となって推進することを基本としつつ、行政としても住民主体の体制作りを積極的にかかわっていくことが必要であると考えています。

質問の主な項目

- ・第5次総合計画について
- ・企業の撤退並びに近隣商業施設の動向による本市の危機意識について

一般質問

中河哲郎議員 新政会

▼元気なまち坂出の2020年 未来予想図は

問 東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年には日本中が活況に沸くとともに、今月打ち上げられた「はやぶさ2」が帰還し、日本のものづくりの評価が今以上に高まることかと思いがぶ。6年後の元気なまち坂出をどのように想定するのか。

答…市長
2020年には、本市における豊かな歴史や文化、海に山に豊かな自然、温暖な気候、交通結節点としての拠点性、重要港湾坂出港を有する優位性や豊富な地場産品などを多くの方に理解いただき、本市がより多くの方に愛されるときに、市政全般の中で最重要課題として取り組んでいる人口増対策の効果により、本市の人口減少に歯止めがかかっている姿を想定し、その実現に傾注していく覚悟です。

質問の主な項目

- ・市長の目指すまちづくりについて
- ・市民意識調査の実施について
- ・観光客の多様なニーズに対応するおもてなしの体制について

▼瀬戸大橋記念公園エリアに水族館を誘致する夢の実現を

問 先日、新屋島水族館の突然の閉鎖報道があったが、瀬戸大橋記念公園エリアに水族館を誘致することで、国内だけでなく、海外からも観光客が訪れる、歴史、自然、近代技術、アート、スポーツが一体となった日本有数の文化的観光地になると考えるが。

答…総務部長
現在複数の自治体が水族館の誘致に取り組んでいるとの報道があり、本市としても水族館が誘致できれば、市外からの観光客も見込め、市の活性化に大いにつながると考えています。市役所内部において、県有地や民有地も視野に入れ、誘致の可能性について検討した経緯はありますが、具体的な提案に至っていないのが現状です。
今後とも情報収集に努めながら、誘致の可能性について研究していきます。



瀬戸大橋記念公園エリア

視察等来庁記録

11月

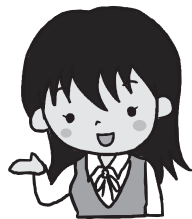
18日 佐賀県白石町
(議会基本条例について)

1月

14日 高知県香美市
(線引きの見直しについて)
23日 愛知県碧南市
(にぎわい創出事業について)
29日 神奈川県愛川町
(さかいで算数・数学オリンピックについて)

議会の傍聴のご案内

本会議、委員会をご自由に傍聴いただけます。また、お体のご不自由な方も車いすのままで傍聴できますので、お気軽にお越しください。



12月定例会の日程

12月 4日	本会議	提案説明 決算審査特別委員長報告への質疑・討論・採決
12月 9日	本会議	議案質疑・委員会付託
12月10日	本会議	一般質問(個人)
12月11日	本会議	一般質問(個人)
	委員会	議会運営委員会の議案調整等
12月12日	委員会	総務消防委員会の審査
12月15日	委員会	教育民生委員会の審査
12月16日	委員会	市民建設委員会の審査
12月17日	委員会	新庁舎建設特別委員会の調査
12月22日	本会議	委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 質疑・討論・採決

総務 まちづくり基本構想の策定に必要な事項について議論

12月12日に委員会を開催し、付託された議案を審査した結果、いずれも可決すべきものと決しました。
主な質疑・意見等は次のとおりです。

問 まちづくり基本構想の策定に当たっては、市民の意見を幅広く取り入れる必要があることから、当該基本構想について議論する審議会の委員選考の際には、市民公募委員に重点を置くほか、若者や女性が参画できるよう配慮すべきでは。

答 第5次坂出市行財政改革大綱において市民公募委員の参加を積極的に推進することとしています。また、男女共同参画計画においても政策方針決定過程への女性の参画促進を掲げていることから、審議会委員の選任に際しては、それらの点を念頭において取り組んでいきます。



教育 市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に

12月15日に委員会を開催し、付託された議案を審査した結果、いずれも可決すべきものと決しました。
主な質疑・意見等は次のとおりです。

問 新市立病院開院後の患者等の反応は。

答 新しく清潔感があり、最新の設備を備えた新市立病院を大変評価する声がある一方、不慣れな番号呼び出しや案内表示の不足、ゲート式駐車場が不便であるとの声もあります。これらの利用者からの声を真摯に受け止め、利用者にとって快適な病院環境の整備に今後努めていきます。



問 旧病院跡地の管理状況は。

答 建物の除却は病院当局の責任で行ったため、除却費用の積算を行った上で、来年度以降に予算化していきます。それまでの建物の管理は病院当局が行いますが、近隣の住環境に配慮するため、警備保障業務を委託し、防犯対策を講じています。

市民 人工土地に観光ボランティアの活動拠点を整備

12月16日に委員会を開催し、付託された議案を審査した結果、いずれも可決すべきものと決しました。
主な質疑・意見等は次のとおりです。

問 人工土地の市有店舗部分を整備し、観光ボランティアの活動拠点としていく方針であるが、人工土地再生計画との整合性は。

答 今回整備予定の市有店舗部分は、計画の中で耐震改修を予定しています。事業運営に影響しないよう配慮しながら耐震改修を行っていく考えです。

問 農家台帳システムを改修し、農地データをネット上で公開することで、農地の集約化を促進するとされるが、本市の状況は。

答 市内各地区で新規就農者が育つ等、借り手側の需要は旺盛なものの、農業者の望む農地と遊休農地の現況のミスマッチが大きく、農地の集約化の進展が困難であるのが現状です。



建設 平成29年度の完成に向けて新庁舎の設計業者が決定！

12月17日に委員会を開催し、事業の進捗状況について理事者から報告を受けました。
昨年8月に、基本構想で掲げた基本理念等をもとに、新庁舎の具体的な整備方針や配置構成の検討を行う坂出市新庁舎建設基本計画が策定されました。この基本計画には議会からの要望が反映されており、議決機関としての格式を確保しながら、市民に開かれた施設となるよう整備すること、情報通信技術を活用した視聴覚機能を取り入れることとされています。

基本計画において、事業手法は従来どおり市が主体的に事業を進める直接建設方式を選択したため、設計者の選定方法を検討する必要があり、検討の結果、設計者の能力を評価対象とするプロポーザル方式を採用することとなりました。
11月のプロポーザル選定委員会で応募のあった提案を審査した結果、東畑・米沢設計共同体が最優秀者とされました。

問 今後の予定は。

答 今春を目途に基本設計を、実施設計は27年度中の完了を予定しており、基本設計が公表できる段階となれば、議会への報告及び市民への周知を行いたいと考えています。また、地域住民等を対象とした説明会も行っていきたいと考えています。

平成26年 12月定例会の審議結果

※議長は表決には加わりません。

認定
賛成 19名
反対 2名

市長提出議案

認定第1号
平成25年度坂出市一般会計
決算認定について

認定に

賛成

齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、村井孝彦、
楠井常夫、末包保広、別府健二、前川昌也、大藤匡文、
大前寛乗、松田 実、若杉輝久、松成国宏、吉田耕一、
中河哲郎、木下 清、山条忠文、東山光徳

反対

脇 芳美、野角満昭

反対意見(要旨) 同和対策事業(脇議員、野角議員)、ごみ処理手数料有料化事業(野角議員)に関し反対である。

認定
賛成 20名
反対 1名

市長提出議案

認定第11号
平成25年度坂出市後期高齢
者医療特別会計決算認定につ
いて

認定に

賛成

齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、脇 芳美、
村井孝彦、楠井常夫、末包保広、別府健二、前川昌也、
大藤匡文、大前寛乗、松田 実、若杉輝久、松成国宏、
吉田耕一、中河哲郎、木下 清、山条忠文、東山光徳

反対

野角満昭

反対意見(要旨) 高齢者に対するさまざまな問題を含む当該医療制度の廃止を求める。

可決
賛成 20名
反対 1名

市長提出議案

議案第31号 坂出市仲よし教室条例制定について
議案第32号 坂出市みのり教室条例制定について
議案第37号 坂出市議会の職員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第42号 平成26年度坂出市一般会計補正予算(案)(第4号)

原案可決に

賛成

齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、脇 芳美、村井孝彦、楠井常夫、
末包保広、別府健二、前川昌也、大藤匡文、大前寛乗、松田 実、若杉輝久、
松成国宏、吉田耕一、中河哲郎、山条忠文、東山光徳

反対

野角満昭

反対意見(要旨)

子育て支援の観点から、保護者の生活状況や意見を尊重すべき。結論ありきの利用料の値上げには反対である。(議案第31、32号)
人事院勧告の趣旨は議員報酬には当てはまらず、また厳しい市民生活を鑑み、期末手当の増額に反対である。(議案第37、42号)

全議員が賛成した議案(可決・認定・同意・承認)

市長提出議案	予算	平成26年度坂出市国民健康保険特別会計補正予算案第2号 など予算案 7件
	条例	坂出市まちづくり基本構想の策定に関する条例制定 など条例案 9件
	決算	平成25年度坂出市国民健康保険特別会計決算認定 など決算認定 11件
	専決	専決処分の承認(平成26年度坂出市一般会計補正予算第3号)
	その他	坂出市教育委員会委員の任命 など人事案 2件

議案内容等の詳細は、坂出市議会ホームページ【議案内容等・審議結果】をご覧ください。



第5回議会報告会を開催

第5回目となる議会報告会を、下記のとおり実施しました。前回比41名増(約24%増)、過去最多となる214名の市民の皆様にご参加いただきました。会場では、6月、9月の定例会の審議内容などについてご報告するとともに、参加者との意見交換を通し、議会に対する貴重なご意見、ご要望を数多くいただきました。

開催日	開催場所	参加議員グループ
10月27日(月)	川津公民館	A班
	西庄公民館	C班
10月28日(火)	西部つどいの家	B班
	東部集会所	C班
10月29日(水)	林田公民館	A班
10月30日(木)	府中公民館	B班

○時間は19時から開始

参加議員グループ ※正・副議長を除く

A班	齊藤義明、出田泰三、村井孝彦 楠井常夫、松成国宏、若杉輝久
B班	茨 智仁、脇 芳美、野角満昭 末包保広、吉田耕一、木下 清 東山光徳
C班	若谷修治、別府健二、前川昌也 大藤匡文、大前寛乗、中河哲郎 山条忠文

○どの会場も植條議長もしくは松田副議長が参加

ご意見・ご要望と議会からの回答を一部ご紹介します

参加者の皆様から寄せられた意見・要望等のうち、当日、回答を保留したものや検討するとお答えしたものうち、委員会で所管事務調査を行ったものについて、その調査結果を抜粋してご紹介します。

なお、詳細については、市議会ホームページをご覧ください。

坂出市議会

総務消防委員会

Q 市が幾らか助成しても自主防災は中々進まない。例えば、危険が迫った事を知らせる広域放送設備や、山へ避難する場合の山道整備や夜間照明の設置。また、防災関連用品の選定、維持管理に関しても、行政がもっと適切なアドバイスをすべき。我々に出来ないような事は行政主導で実施してほしい。

(10/29 林田公民館)

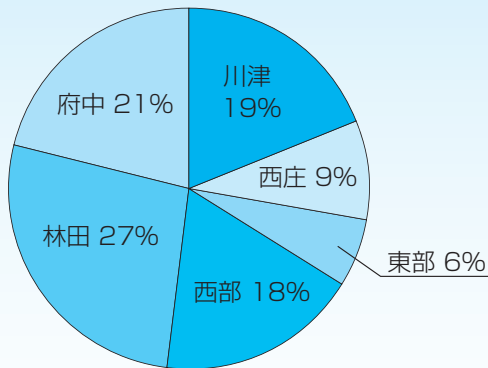
A 自主防災組織については地域防災力の中心的な役割として、自助・共助の中核的組織と位置付け、住民の主体的な取り組みが必要と考えています。当然ながら、住民だけではできないことについては行政主導で取り組むべきですが、防災に関しては、行政による安全と、住民自らが作り出す安全を両輪として進めていかなければいけないと考えているので御理解いただきたいと思います。

なお、広域放送施設については平成27年度末を目途に同報系の防災行政無線を整備中です。また、避難路や夜間照明の整備に関しては具体的にご提案いただければ、予算の制約はあるものの必要性、有効性を考慮しながら事業課とも連携し積極的に取り組んでいきたいと考えています。

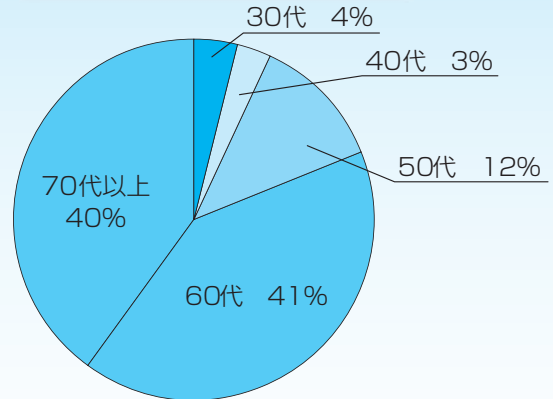
防災関連用品の選定等に関しては、現在も様々な方法で広報を行っているところですが、引き続き周知に努めていきます。

議会報告会アンケート結果

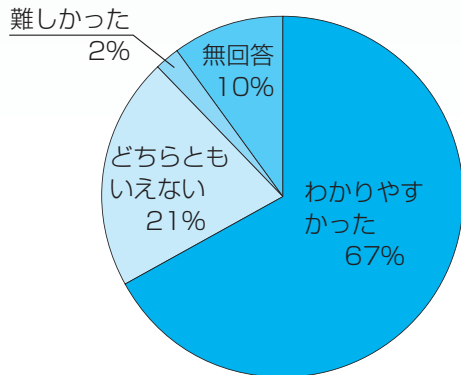
地区別参加割合



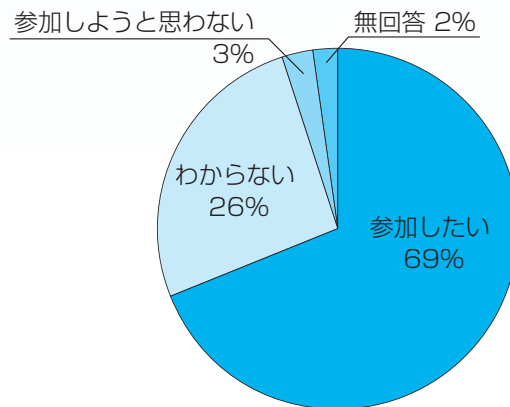
参加者の年齢



Q 報告内容はどうでしたか



Q 次回も参加しますか



Q 議会報告会に参加しての感想は？

- ・地区別で議会報告会が開催されるのは良いこと。今後町別でも開催してほしい。
- ・市民との意見交換はどんどん行うべき。
- ・専門用語が多かったので、もう少し分かりやすく説明してほしい。
- ・初めて参加したが、充実していたと思う。市民として色々と考えていきたい。
- ・議員に能力、実行力が不足している。もう少し専門的な知識を身につけて、本市の活性化に力を注いでほしい。
- ・議員報酬、議員定数の見直しが必要（まだ不十分）。
- ・質問や要望を事前に提出し、議会報告会の中で返答いただけるようにしてほしい。
- ・議会だよりはいつも読んでいるが、議会報告会が開かれることで、議会に一層親しみをもてた。



これまで議会報告会を前期（4月下旬）、後期（10月下旬）の年2回開催してきましたが、本年4月に市議会議員選挙が行われることから、平成27年度は前期の開催を見送ることします。

行政視察報告

委員会では、付託された議案等の審査のほか所管する事項の諸問題について調査を行っています。視察内容の詳細は市議会ホームページに掲載しています。

総務消防委員会（10月22日～24日）

奈良県天理市 自主防災組織の取り組みについて

自主防災組織に対する補助金の交付や、市担当職員が直接自治会に出向き指導を行うことで、劇的な速度で自主防災組織結成率が向上しています。

滋賀県長浜市 定住自立圏構想について

医療機関の連携体制の構築による地域医療の確保等、単独の地域では実施困難であった生活機能の維持や地域活性化に取り組んでいます。

福井県福井市 オープンデータの取り組みについて

市が所有する公共データを自由に利用できるかたちで公開し、社会で効果的に利用できる環境を整えることで、市民の利便性の向上や市民参加が促進されています。



教育民生委員会（11月5日～7日）

千葉県松戸市 子育てにやさしい情報システム構築プロジェクトについて

子育てに関する不安や孤立感を解消するために、ICTを活用し、地域が主体となって子育て支援情報サービスを提供しています。

千葉県柏市 柏市における長寿社会のまちづくりについて

高齢化率が40%を超える豊四季台団地において、UR都市機構、東京大学、柏市が共同し、地域包括ケアシステムの実現に取り組んでいます。

新潟県長岡市 熱中！感動！夢づくり教育について

長岡市にいきづく「米百俵の精神」をもとに、熱中・感動体験を伴う多様な教育プログラムを実施しています。



市民建設委員会（10月21日～23日）

岐阜県岐阜市 中心市街地空き店舗対策事業について

家賃補助を行うことで負担軽減を図るなど、新規出店を促進することで、中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいの再生を図っています。

岐阜県高山市 中心市街地活性化について

商店街の空き店舗を活用や、市民や観光客が気軽に立ち寄ることができるお休み処として「まちの縁側」を整備するなど、にぎわいのあるまちづくりを行っています。

富山県高岡市 水道事業の民間委託等について

水道検針業務や料金徴収業務等を民間委託することで、人件費等の経費節減を図るなど、効率的な事業運営を行っています。



編集後記

今年の干支の「未」は羊であり、十二支の中でも牛や馬などと並び人間との付き合いが長い動物です。羊はとても馴染み深い生き物であるためか、世界各地に羊との関連ある言い伝えやことわざ等が残っています。また、羊はめでたい善良な動物であり、同じ行動をとって大勢で暮らすことから、「群」の漢字は羊から作られました。群れをなす羊は家族の安泰を意味しており、財テク等の才を持つとも言われるので、未年生まれには財を成すことに向いた方が多いようです。

未年に当たり、本市が安全・安心なまちであることを願うとともに、国の経済政策の浸透により景気回復を実感できる日が1日も早く来ることを願っています。（保広）

広報広聴委員会

委員長： 若杉輝久
副委員長： 出田泰三
委員：
若谷修治 村井孝彦
楠井常夫 末包保広
松田 実 木下 清

12月定例会で同意した
人事案件【敬称略】

◎坂出市教育委員会委員

澤井 静芳

◎人権擁護委員候補者

三野 郁子

次の定例会は
3月上旬に
開会予定です。